



THE JTSU-E JOURNAL



公式ホームページ 公式SNS (X)

所在地：〒135-0044 | 電話：03-6458-5603 | H P : http://jtsu-e.com | 発行人：佐々木 宏 充 | 2025年 1月1日 第59号 | 月1回発行/1部20円 (組合員の購読料は組合費を含む)
東京都江東区越中島3-5-10 | F A X : 03-6458-5605 | メール：union@jtsu-e.com | 編集人：奥 富 亨

結成5周年を迎える2025年 職場から堂々と輸送サービス労組運動をつくり出そう!



写真：秋晴れの空の下、第四久慈川橋梁を走る水郡線 (上小川・袋田間にて 組合員撮影)

安全レベルの低下に歯止めをかけ、人権尊重企業を取り戻すため着実に歩みを進めよう!
JR東日本輸送サービス労働組合 中央執行委員長 佐々木 宏充

新年あけましておめでとうございます。

JR東日本輸送サービス労働組合は、今年2月で結成5周年を迎えます。この5年間の輸送サービス労組の活動を共に歩んできたすべての組合員と御家族の皆さん、また、私たちの運動に賛同し、ご支援いただきました他単組の仲間や皆さん、支援する会をはじめとした友誼団体・議員懇談会の皆さん、そして弁護団の皆さんに厚く御礼申し上げます。今年1年に限らず、向こう5年、10年先を見据えて、私たちの力の源泉でもある職場活動を基礎に、働く私たちと家族の幸福を第一義に掲げ、公共交通機関としての使命を果たすために、安全で安心して利用できるJR東日本の健全な発展をめざして、あらゆる運動を展開していく所存です。引き続きご指導をお願いいたします。

会社は「変革2027」の実現に向け、猛スピードで施策を進めています。その中で、第一に指摘しなければならないことは『安全レベルの低下』です。職場では小さな事象も含めて顕著になっていますが、それは同時に経営トップの意識が「安全は当たり前」になってはいないかということでもあります。昨年9月、東北新幹線古川・仙台間で発生した「はやぶさ・こまち」号の時速315キロでの列車分離は、衝突・脱線が起きかねない重大事故です。11月には、同じ東北新幹線くりこま高原・一ノ関間でパンタグラフに異常があり長時間運転を見合わせました。後に架線を支える部品の一部が高架下の民家の敷地に落下していることが判明しましたが、命に関わる重大な事象です。そして、東北本管内で運転しているE721系64両で台車に亀裂が見つかるなど、ここ数年で看過できない事故・事象が多発しています。今、これまで進めてきた効率化をはじめとした施策の検証を行うことが必要です。それは、私たちが多くの人の「命」を預かる輸送サービスを担っているからです。

第二には『人権の尊重』です。2020年4月から実施されている「新たなジョブローテーション」施策は、明らかに輸送サービス労組組合員に対する嫌がらせと捉えざるを得ないものです。この施策の目的の一つに「10年を目途に異動を行い、新たな活躍フィールドを広げることで個人の成長を促す」と謳われています。鉄道という特殊な技能・知識が求められる業種において、異動を頻繁に行い「広く・浅い」経験の社員を増やすことは、安全やサービスレベルの低下を招くことは容易に想像できます。一方で、少子高齢化に伴う労働力不足が深刻化する中で、業務の効率化が求められていることも直面する課題です。したがって、施策を進めていく際には労使が徹底的に議論し、安全やサービスレベルをより向上させていくことを前提に、一定の基準やルールを定めていくことが必要です。多くの職場で発生している問題を見直し、労働組合としても責任が問われます。このジョブローテーションを撤廃するために、この一年は勝負をかけなければなりません。会社が言う「活躍フィールドの拡大」によって、希望もしない中で40代後半の人が運転士や車掌業務から駅業務に異動し、退職や休職に追い込まれたこと、片道4時間の通勤を強いられ家庭や地域での活動の時間が奪われていること、運転士経験わずか3年の人が駅に異動したことなど、挙げればきりがありません。会社自らが掲げる施策の趣

旨と反している事柄や仕事と家庭の調和とはかけ離れた現実が生み出されていることから、別の目的が存在していると考えられます。

輸送サービス労組の原点は、2018年に顕著になった「脱退強要」で「あつたことをなかつたこと」にできない」と企業犯罪を許さず、JR東日本を健全な企業へと導くことです。一昨年8月、会社の組織的な関与は認められませんでした。当時の現場長らが脱退強要を行ったことや他の職場でも類似のことが行われていたことが裁判で認定されました。しかし、今でも面談の中で輸送サービス労組組合員に対しての脱退強要が行われ、また昇進試験や異動をちらつかせて脱退を促めかす言動も行われています。このような偏見や差別の背景には、利益第一主義が根底にあるのではないのでしょうか。企業は利益を追求しなければなりません。しかし、CSR(企業の社会的責任)の観点を忘却して利益追求に突き進んでいくことは、結果として利用者の命を奪い、取り返しのつかない事態を招いてしまいます。したがって、輸送サービス労組は、これからも労働者の権利である労働三権を堂々と掲げ、JR東日本の健全な発展と利用者から信頼される安全で安心な公共交通を担い、地域社会に貢献できる鉄道会社を目指していきます。

そして、人口減少や気候変動などの社会的な問題についても取り組みを進めていかなければなりません。先日、久留里線久留里・上総亀山間を廃止バス転換を進めていくことが発表されました。今後、JR東日本管内でも多くの箇所が同じような事態になっていくことが危惧されます。しかし、この問題は鉄道だけに留まらず、電気・ガス・水道・道路などの生活インフラにも問題が発生します。実際に水道料金を20%も値上げせざるを得ない自治体も存在します。これらの問題は一極集中という単純なことではなく、分散社会を目指した中で鉄道の都市間輸送や地域輸送のあり方など、人口減少社会を真剣に考えていくことも私たちの課題です。議員懇談会の皆さんとも連携を強化していきます。さらに、気候変動の問題は、鉄道の安全にも大きく関係します。昨年、巨大台風や豪雨による被害が多く発生し、私たちが取り巻く環境は厳しさを増す一方です。設備などのハード対策と同時にワンマン化や駅の無人化における利用者の避難・誘導の問題など、教育・訓練を含め、具体的な対策について取り組みを強化していかなければなりません。

今年には戦後80年です。昨年、日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しました。現在も被爆者は10万人を超えています。日本政府からは何の補償もされていない」と訴えています。ひとたび戦争になれば、後戻りできず命が奪われてしまいます。犠牲になるのは私たち労働者、一般市民です。今のJR東日本も「成長」の言葉で後戻りできない状況になり、誰も止めることができません。一旦立ち止まる「勇気」が今こそ求められています。「輸送サービス労組は何でも反対する」と吹聴されていますが、人や環境などを破壊させるような政策・施策には是非々々で臨んでいくことは、私たちの原点であり譲ることはできません。一人の声をみんなの声にしていくための地道な活動を職場から創り出していきます。2025年もよろしくお願ひいたします。

2025年 新年のあいさつ

日本輸送サービス労働組合連合会

執行委員長

関

昭生

結成から5周年を迎え、

運動の着実な前進を確認

社会連帯をさらに推し進める

あけましておめでとうございます。

JTSUは今年、結成5周年をむかえます。当初、二つの単組で出発したJTSUは、西武バスユニオン、JRメカトロサービス労働組合が加わり、個人加盟の組合員の皆さまと共に運動と組織が広がっています。



私たちは輸送サービスに関わる労働組合という立場から、公共交通に関する課題を社会に訴えてきました。これまで「鉄道の未来を地域から考える学習会」や「地域共生フォーラム」を開催し、JTSU議員懇談会を始め、有識者の皆さまやワーカーズコープの皆さま方と意見交換を行い、これからの社会と公共交通のあり方について考えています。

また、これまで取り組んできたポルデウオークや、子ども食堂への関わりなどを通じて社会とのつながりを深めるとともに、今後は地域とつながった働き方についても具体的に考えていきます。



昨年は「政治とカネ」の問題が政界を揺るがした一方で、衆議院議員総選挙での投票率は53・85%と戦後3番目の低さと、政治に対する関心は高まっています。今年は戦後80年の節目の年とともに、参議院議員選挙、都議会議員選挙などが続きます。高齢化、人口減少、格差、貧困など、日本が直面する問題を私たちは避けて通ることはできません。

JTSUは社会連帯の輪をさらに広げ、誰もが安心して働き、暮らせる社会をめざし、組合員・家族の皆さまと共に運動を進めてまいります。今年も一年よろしくお願いたします。

JRメカトロサービス労働組合

執行委員長

杉山

孝太

労働環境・待遇の改善を実現

組合員の声を大切に、

更なる取り組みの強化を

新年あけましておめでとうございます。

昨年はJRメカトロサービス労働組合を結成し、新たな一歩を踏み出した記念すべき年となりました。この決断は、組合員の労働環境・労働条件をより良くし、共に働く仲間たちの権利を守るための重要な一歩でした。組合結成に至るまでの道のりは決して平坦ではありませんでしたが、JTSUの皆さまの協力と熱意に支えられて無事に単組を結成することができました。

労組結成により、労働環境及び待遇の改善や福利厚生充実、ハラスメント行為の根絶に向けた取り組みは一層強化されました。また、年末手当の増額も実現できたことで、組合員が安心して働ける環境の一つが整いました。今後も引き続き、組合員の声を大切にしながら、より良い労働環境づくりと職場の安全衛生の確保に向けた取り組みを強化していく所存です。そして私たちの活動が、JTSUの活動全体に少しでも有益なものとなるようにこれからも組合員と共に尽力していきます。



止まらない物価上昇、経済の不安定さなど、私たちが取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。こうした中で、労働組合の役割はますます重要になっていきます。JTSUの仲間として、共に持続可能な社会の実現に向けて積極的に行動していきたいと考えていますので、引き続きご支援とご協力をお願いいたします。最後に、今年一年が皆さまにとって実り多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。



健全なJR東日本・グループ会社をめざし

起ちあがった仲間と連帯する会

代表 高橋 正憲

安心して暮らせる社会の実現と

労働者・利用者の命と権利を

守り抜くために

米国の大統領選挙でトランプ氏が再選され、

就任を待たずに米国ファーストを掲げ、関税を材料に圧力をかける「トランプ外交」が始まりました。権威主義が台頭する中、経済・安全保障・民主主義の行く末に不安が募ります。各地で紛争が起き、覇権主義が蔓延る中で、我が国の防衛費も倍増され、防衛税の新設も検討されています。二度と過ちを起さないためにも戦争への道は絶対に許してはなりません！



円安に後押しされる様に止まらない物価高騰・実質賃金と年金の目減りの中で、多くの国民は生活苦であえいでいます。自民党派閥の裏金事件に端を発した政治改革も中途半端なものに終始し「国民の怒り」を買い、衆議院議員総選挙での与党の大敗を招きました。これは政治改革の国民の願い・チャンスであり、「政治とカネ」を払拭し、国民本位の政治を取り戻すために野党の結束が鍵となります。「103万円の壁」を巡り、党利党略を優先する所もあり、政治改革の足かせにならないか危惧しています。



JTSUは創設以来、不当労働行為に対し真摯に取り組んできました。脱退パワハラ訴訟やJR東日本八王子駅パンフ配布処分事件等、多くの仲間を支えられて勝利をかち取ってきましたが、不当労働行為や人事権の濫用・不正行為は後を絶ちません。働く仲間と利用者の命と権利を守るため、勝利するまで力強く、私たちは支援していきます。団結してガンパロー！



JTSU議員懇談会

代表

小椋 修平

(足立区議会議員)

不当労働行為や職場で

発生する問題の解決に向けて、

より一層の連帯を

JR東日本輸送サービス労働組合の皆さま

には日頃より大変お世話になり、昨年は衆議院議員総選挙で推薦議員の仲間に対して多大なるご支援を賜り、議員懇談会を代表して心より御礼申し上げます。

私は20代の頃、派遣社員をはじめとする非正規雇用の現場で働いてきましたが、当時、非正規の労働組合は一切なく、正社員の組合員の皆さんが、私たち派遣社員の待遇改善、中途採用の道や、雇い止めの阻止、ハラスメント問題など会社側と交渉していただいたことに深く感謝し、労働組合の意義を実感してきました。現在は、幅広い業種からの組合加盟、結成など、全ての働く仲間のために日々奮闘されている姿勢はとても励みになっています。



しかしながら、未だに続く組合脱退強要、パワハラなど問題は改善しておらず、JR常磐線各駅停車(綾瀬・取手間)のワンマン運転問題では、議員懇談の仲間と連携し、それぞれの議会では、議員懇談の仲間と連携し、それぞれで質問し、各駅での街頭活動に参加するなど、私たち議員懇談の仲間も一緒に皆さんと連帯しながら、より良い職場づくり、経営効率よりも安全第一の公共交通サービスの実現に向けて全力を尽くしてまいります。



本年夏に執行される都議会議員選挙、参議院議員選挙では、推薦議員の仲間の必勝、そして、不当労働行為を根絶し、誰もが安心して働き続けることのできる社会の実現に向けて、皆さんとより一層連帯してたたかっています。



JTSU顧問弁護士

佐々木 亮

当たり前の労働組合活動への規制を

行う会社姿勢は改められるべき

新年あけましておめでとうございます。

昨年は脱退パワハラ個人訴訟が終結しました。会社ぐるみの不当労働行為であったことは、残念ながら認めさせることはできませんでしたが、あの強烈な脱退工作が吹き荒れた中で「あつたことをなかつたことにはできない」として起ち上がった4名が、最後までたたかいたことは、組織として大きな宝になるものと思います。4名の奮闘と、それをサポートしてきた皆さんの団結力に改めて敬意を表します。



さて、昨年はジョブローテーションをめぐるたたかいかも進行してきました。その中で水戸地本では、これに付随してアンケート調査を職場で行ったことを処分することが相次ぎました。しかし、労働組合が職場の労働者にアンケートをすることは極めて一般的な組合活動です。こうした会社の態度は改められなければなりません。

同様に、八王子地本では組合員獲得のためのパンフレットを勤務時間外に配ったことも問題とされています。東京都労働委員会では勝利命令を得て、その後、中央労働委員会が審査が続いています。こちらも、全くもって当たり前の組合活動を会社が制限してきたものでありますので、やはり改められなければなりません。



本年は、これらのたたかいに新たな進展がある年になるものと思います。我々弁護士は、一つ一つの事件に向き合い、憲法で保障された団結権・団体行動権を実現するよう、各手続の中で奮闘していきたく思います。本年もどうぞよろしくお願いたします。



2025年もサークル活動で楽しい時間を仲間とシェアし、仲間との“絆”を深めよう!



ヒューマン・エコロジークラブ 部長 園部 雄一

～サークル代表より新年の挨拶～

新年あけましておめでとうございます。

昨年は地球温暖化により、平均気温が軒並み最高記録を更新し続け、過去の記録をはるかに上回る最も暑い夏になりました。2024年の世界気温も観測史上「最も暑い年」になる見通しです。それに関連して、世界各地で極端な風水害により、多くの犠牲者が出ました。また、日本での「米不足」を始め、世界的な食糧危機が深刻な問題になりつつあるなか、私たちが警鐘していた「未来への分岐点」である2030年が確実に迫ってきています。

ヒューマン・エコロジークラブは発足から4年目を迎えます。「ブッシュクラフトキャンプ」「焚火会」「みそづくり」等を通じて、生態系の一員である私たち人間が、人間生活と自然の調和、共存をめざし「人間とは何であり、どうあるべきか」を追求し、自然環境保全に向けた具体的な実践をめざしていきます。

戦争や紛争、分断による混沌とした世の中、モノが溢れる都市部の一極集中の中で暮らし、生産性向上に突き進む疲弊した職場の中で生きる私たちが、本当の『心の豊かさ』とは何かを、みんなで集まり、感じ合い、語り合えるサークルをさらに拡大していく年にしていきます。今年もよろしくお祈りします。



スノークラブ 部長 稲沢 勝成

スノークラブは、2022年に結成し今年で3年となります。「スノークラブ」という名称は、スキー・スノーボードをする人だけではなく、雪見酒、雪を見ながら温泉と雪を楽しんで欲しいという想いから2022年に開催した第1回スノークラブレク・総会に集まった組合員と共に決定してきました。

スノークラブでは、全日本公認インストラクターによるレッスン、タイムを競うアルペンスキーレースの開催、大懇親会と初心者からエキスパートまで、さらにはスキー・スノーボードをしなくても雪山を満喫できるレクを開催していきます。開催は毎年2月を予定し、春のたたかみの結集軸として各地本から仲間が集まり、春のたたかみの意思統一や議論を深める場、そして各職場の冬レク等に活用いただければ幸いです。今年度も2月に第3回スノークラブレクを開催します。多くの参加をお待ちしています。

サークル活動は、同じ趣味を持つ仲間が集まります。そこには、職場の枠を超えた仲間意識が生まれ、組織力が高まっていきます。そして一度築いた組織力は、簡単には崩れません。スノークラブは、強固な組織をつくるため、そして一人でも多くの仲間をつくるために今後も活動していきます。

第3回 JR東日本輸送サービス労働組合スノークラブレク in シャトー塩沢
日にち：2025年2月11日(火・祝)～2月12日(水) 場所：シャトー塩沢スキー場



レールクラブ 部長 橋高 寿宏

昨年11月に輸送サービス労組3つ目のサークルとしてレールクラブを結成しました。この間、鉄道が好きな仲間たちで、貸切列車を運行したり、撮影会などを開催してきました。1人ではできないことも、労働組合の仲間と一緒にあれば、より充実した趣味をサークルでは楽しむことができます。そして何よりも輸送サービス労組の仲間の大切さを感じることができるサークルです。

今年も多くの仲間とともに楽しめるサークル活動をめざしていきますので、これまで参加したことのない仲間の参加も大歓迎お待ちしております!



2025年活動計画(案)

6月 例会

8月 第2回定期総会

※詳細は決まり次第お知らせします。



水戸地本 アウトドア サークル 野遊会 会長 矢部 良明

水戸地本アウトドアサークル「野遊会」は、昨年9月29日に結成総会を開催しました。「野遊会」は「山の部(登山)・海の部(釣り)・草の部(キャンプ)」から構成されており、輪を大切に、仲良く、明るい職場をめざす仲間が自由に参加できる場とするべく、水戸地本を中心に準備委員会を立ち上げ取り組んできました。

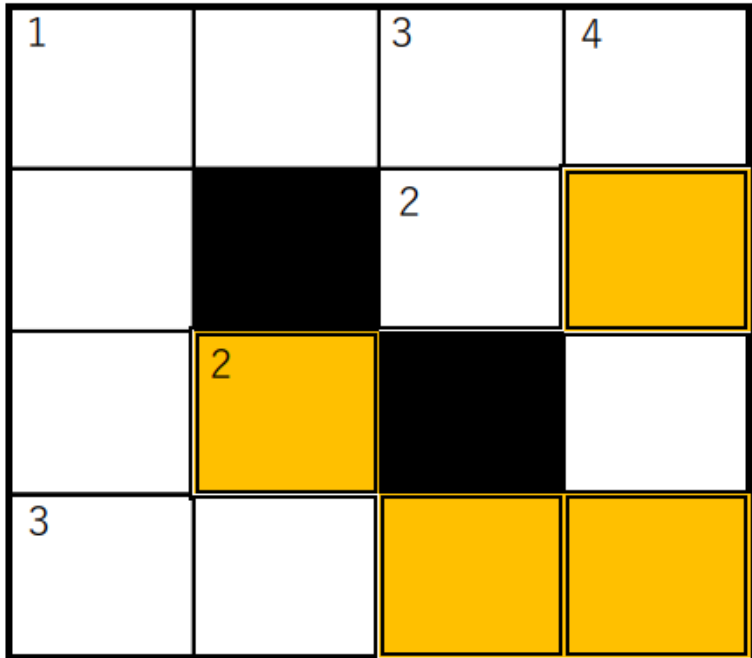
結成総会当日は50名の仲間が参加し、各部毎に開催したイベントでは初心者から熟練者まで趣味を通じて一緒に楽しむことができ、大いに盛り上がりました。さらにキャンプでは、各部からも多くの仲間が参加し、焚火を囲みながら大いに懇親を深めることができました。

今後も、多くの仲間が集まれる場としてサークルを盛り上げていきます。本年もよろしくお祈りします。

JTSU-E New Year Dream Quiz

ニューイヤーDreamクイズ

クロスワードの■に入る文字を並べ替えて文章を完成させよう!



答え

「ビジネスと■■■■」の視点を踏まえ、あらゆる不法行為を許さず、働く者が主役の健全なJR東日本の実現に向けて、運動を推し進めよう!

【タテのカギ】

- メジャーリーグで史上初の50本塁打50盗塁を達成するなど今年も大活躍! ○○○○選手
- Aグループにはついて、Bグループには付かないもの

Aグループ	Bグループ
茨城	北海道
埼玉	東京
山梨	京都
千葉	大阪

- 秋に旬を迎える果物
- 車掌が乗車しない運転方式。2025年春から常磐緩行線と南武線で導入が予定されています。

【ヨコのカギ】

- 2025年は敗戦から80年の節目を迎えます。○○○○県では地上戦が行われました。
- 輸送サービス労組は○○の笑顔と活気あふれる職場の実現を目指します!
- オレンジ色の野菜。
カレーやシチューによく使います。

結成5周年を記念し、例年を上回る総勢45名に豪華景品が当たる!

今年は2コースのどちらか選べます! 奮ってご応募ください!

リラックスコース

- Nintendo Switch 1名
- ホテル椿山荘TOKYO ランチお食事券 1名
- ひたちなか海浜鉄道 1日乗車券 5名
- スターバックスコーヒーカード 8名
- モバイル扇風機 7名

JTSU-Eコース

- Aladdin (アラジン) グラファイト 卓上グリル 1名
- グルメカタログ (高級肉) 2名
- カゴメ 野菜の保存食セット 3名
- 只見産コシヒカリ5kg (令和6年産) 5名
- 那須烏山市 島崎酒造醸造 果実酒 2名
- 矢祭町 ゆずシャーベット (10個セット) 2名
- 図書券 8名

【応募方法】

ハガキに

- クロスワードの答え
- 郵便番号
- 住所
- 電話番号
- 氏名 (ご家族の方は組合員の氏名と続柄)
- 所属分会名 (もしくは出身分会名)
- 希望するプレゼントのコース

①~⑦を必ず記入し、以下のあて先までご応募ください。

【宛 先】

〒135-0044 東京都江東区越中島 3-5-10 輸送サービス労組 NYDQ 係

【締 切】 2025年1月22日(水) 必着

さらに今年はインターネットからも応募できます!

応募は以下の二次元コードより



応募期間

2025年1月1日(水・祝)~1月22日(水)